



## クラスの様子【11月号】



ひよこ・りすぐみ 今月の目標

『自分でできることを自分でしようとする。』

秋を感じる風が吹いたかと思えば、汗が流れる1日があったり、、なかなか終わりの見えなかった夏もやっと終わりが見えてきました。日中は少しずつ過ごしやすい日も増え、西の広場に行ったりお散歩に出かけたり活動の幅も広がってきています。またこれから戸外活動でのお土産が増えてくると思いますので、楽しみに待っていてくださいね。夏頃から少しずつ排泄の際にトイレに座るか、子どもたちに聞きながら行っています。お友だちの様子を見にくる子がいたり、自分からトイレに座りに行く子がいたり、、オムツに出た後に座りに行く子も多いですが、オムツに出でおらずトイレに座って成功する子もでてきました。また、衣服を脱いだり履いたり自分でしたい！と自分でできることを自分でしようとする子が増えてきました。ズボンの片足に両足を入れてしまって“どうしたらいいの、、、？”という顔で立ち尽くす姿も見られますが、履き方を改めて伝えたり一緒に履きなおしたり、“自分でできた！”と感じられるよう手助けしたり見守ったりしています。成功体験が自信へとつながり“次もトイレ座ってみようかな”“次も自分でズボン履いてみようかな”と気持ちの変化にもつながっていくと嬉しいです。これからも丁寧に関わりながら子どもたちの気持ちを第一に取り組みでいきたいと思っています。今月からひよこぐみに1人新しいお友だちが増え、ひよこぐみ・りすぐみ合わせて26名となります。体調管理に十分気をつけながら、たくさん身体を動かして元気に過ごしていきたいと思っています。(倉田)



うさぎぐみ 今月の目標

『遊びのルールを理解して、守ろうとする。』

秋の気配がますます深まるこの頃うさぎ組では、落ち葉を踏みしめたりどんぐりを拾ったりと、秋の自然に親しんでいます。西の広場や散歩に出掛け、お散歩バックにいっぱいのだんごりや松ぼっくり、栗などを持って帰る姿があります。どんぐりの大きさや色、形の違いに気づいたり、どの木から落ちているのだらうという不思議もいっぱいです。また、ゾーン遊びでは、子ども自身が遊びの環境を選択し、遊び方を見つけ、自由に行動するというところにあります。自ら選んだ遊びに取り組むことで、自主性や独創性を伸ばし、物事に集中して取り組む力を身につけています。4月当初はゾーンを気にせず遊んだり、いろんなゾーンの玩具が混ざっていましたが、最近では少しずつ絵本は絵本ゾーン、ブロックはブロックゾーンと意識するようになりつつあります。違うゾーンで遊んでいると、「ここはブロックゾーンだよ」、「おままごとゾーンはあっちだよ」などと子どもたちの間で声を掛け合う姿も見られます。子ども達が自分で考える力を伸ばせるように促していけるといいなと思います。(小松)



以上児 今月の目標

『戸外でたくさん身体を動かし、虫や植物に触れ季節を感じる』

昼夜の寒暖差も徐々に大きくなり、やっと秋らしい気候になってきました。こくら組では運動会に向けて、園庭でかけっこをしたり、「位置について・よーい・ドン」という合図を聞いて走り始めるということ子ども達と一緒に確認しながら進めています。身体を動かすことが好きな子が多いため、跳び箱や平均台を使って運動遊びにも取り組んでいます。跳び箱では3段・4段・5段と徐々に高さを上げていき、年齢関係なく挑戦する姿が見られます。子ども達の「やってみよう」という気持ちをこれからも大切にしていきたいと思っています。また最近では、ポキポキ広場へお散歩に行ったり園庭で過ごす時間が増えてきました。年長児を中心に虫や植物を見つけて写真を撮り、自分たちで名前や特徴を調べて書き、図鑑作りに励んでいます。ひらがなを教え合ったり、自分たちで書くというきっかけにもつながっていき、完成を楽しみに取り組んでいます。それを見ている年中・年少児も同じように、園庭に虫や植物はいないかなと夢中になって探していたり、みんなで協力して探しています。「見て・真似をする」ということ、お互い刺激し合える関係は大切だと実感しました。(武久)

